

# 目の見えづらい人の声を聴く

第10回院内研修会

講師 にいつ眼科患者様

# 患者様の声を直接聴こう

- 10月10日（木）
- 長年通院していただいている患者様にご自分が治療にあたり経験してきた事をお聴きし、患者様の想いを学び、共に寄り添える職員になる事を目指し、院内勉強会を実施致しました。

## 患者様の声を直接聴こう

- 長らく緑内障で治療を継続されている患者様のお話を聴かせていただきました。
- 緑内障は自覚症状が感じられたときには、病がかなり進行していることが知られています。現在70%以上の方が健康診断で発覚することが多い病気です。
- しかし、以前は健康診断の項目に入っていませんでした。

## 患者様の声を直接聴こう

- お話をしていただいた患者様も発見が遅れ、気が付いた時には進行している状態でした。
- 始めはなんとなく遠近が合わなくなり、違和感を感じたことが受診のきっかけだったそうです。
- 治療が始まり、手術をし、現在は進行を遅らせるための点眼治療で正常眼圧を維持するように努力されています。

## 患者様の声を直接聴こう

- 日記を見ると次第に見えなくなってきたことを実感するときもあり、精神的にきつくなる時もある・・・
- 『教養と教育』 --- 「今日の用事を必ず作ること、今日行くところを必ず作ること」を心がけて、できるだけ引きこもらないようにする事・・・

## 患者様の声を直接聴こう

- 症状が進行するにつれて、できなくなることもあり、素直に助けてほしいことが言えるようになった・・・
- 家族が優しくなった・・・
- 見えづらくても社会貢献をしていきたい・・・などなど様々な思いを語って頂きました。



# 患者様の声から学ぶ



- 目が見えづらい = 点字・白杖、と決めつけられるのは嫌だ。「お手伝いしましょうか」の声かけが有り難い
- 会計では、お釣りはトレーではなく手渡しをしてほしい
- 検査では視野の欠けがあるのでどこを見たらいいか言葉で誘導してほしい

# 患者様の声から学ぶ

- 様々なお話を本音で話して頂きました。
- 短い時間でしたが、学びの多い貴重な時間でした。
- これからも 患者様お一人おひとりの眼の不安な気持ちに寄り添って対応できる職員を目指してまいります。